

令和 7 年度国立大学図書館協会 東京地区協会事業

1. 事業名

東京地区 Open Library

2. 企画趣旨

比較的狭いエリアの中に各機関が近接しているという東京地区の特徴を生かし、機関を超えた人的な繋がりを強め、地区全体の職員の人材育成を行うことを目的として、地区内での職員間の意見交換・図書館見学の会(東京地区 Open Library)を実施する。

今年度は、職員間の意見交換に重点を置いて実施する。

3. 内容

職員間での意見交換および図書館見学等を行う。

ただし、実施機関に過度な負担をかけないように、内容や時間は実施機関の判断で適宜変更できるものとする。例えば、すべての機関で見学会を実施する必要はなく、実施可能な機関が行う。実施可否は各機関が判断する。

参加者の募集等は、実施機関が行う。

● 意見交換(90 分程度)

- ・ 職員が日常業務における課題や各館での取り組みを共有し、解決のヒントを得られる機会とする。
- ・ 基本的にワールドカフェ形式で行う。ただし、参加人数によって適宜調整する。
- ・ 意見交換のテーマは、『2030 デジタル・ライブラリー』推進に向けたロードマップ』を踏まえて、全館共通で以下の 3 つとする。
 - 1) オープンアクセス、オープンサイエンス
 - 2) 「場」としての図書館(リアル・ハイブリッド・オンラインを含む)
 - 3) その他(実施機関が事前に決めておく。実施機関の判断により、フリーテーマでの意見交換としてもよい)

● 図書館見学(30～60 分程度)

- ・ 実施機関の図書館内を見学する(図書館以外の施設も可)。通常の利用者への図書館案内のみでもよい。
- ・ 見学前の説明は必須としない。

4. 実施期間

2025 年 9 月～2026 年 3 月(予定)

- ・ 具体的な日程は、実施機関間で調整の上決定する。

5. 対象

東京地区協会会員館の若手・中堅職員

- ・ ただし、実施機関が希望する場合は、若手・中堅職員以外の職員および関東甲信越地区会員館の職員の参加も可とする。関東甲信越地区会員館への呼びかけは理事

館へ申し出る。

- ・ 定員は、実施機関が会場の収容人数等に応じて設定する。

6. 経費

経費が生じないため、国立大学図書館協会の地区協会助成事業には申請しない。

7. その他

参加者および実施機関担当者の交流を目的として開設した Discord については、必要に応じて活用する。